

「アジアの一等国」 自民議連が意見書

NHK総合テレビが5日に放送した「NHKスペシャル シリーズJAPANデビュー 第一回『アジアの一等国』」の内容に対し、有識者らが「偏向・歪曲報道」などと批判している問題で、自民党の保守系議連「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」(会長・中山成彬元文科相)が近く、同局に質問形式の意見書を提出することが20日、分かった。問題はついに政界に波及することになった。

今週中にも提出

番組は、日清戦争後の日本による台湾統治について、一等国を目指して統治の成功を海外に誇示したが、日台間の格差と同化という矛盾を抱え、やがて皇民化運動で日本文化を強制した一などと放送した。

これに対し、日台の文化交流を進める民間団体「日本李登輝友の会」(小田村四郎会長)は10日、「日本が一方的に台湾人を弾圧したとするような史観で番組を制作することは、公共放送として許されるべきではない」という抗議声明を、NHKの福地茂雄会長あてに提出した。

声明には、元タイ大使

で外交評論家の岡崎久彦氏、京大大学院の中西輝政教授らの名前も。また、ジャーナリストの櫻井よし子氏は週刊新潮で「全篇が、歪曲報道の連続」と指摘し、評論家

NHK「偏向報道」政界に波及

NHKスペシャル

シリーズ JAPANデビュー

永田町でも問題視され始めたNHKスペシャル

あての意見書を作成しており、今週中にも提出するという。NHKの予算は毎年度、国会で承認を得ることが放送法で決められている。

の金美齢氏も「偏向番組の一語に尽きます」と批判した。議連では、日台双方から同様の批判が続出していることを受け、NHK

李登輝友の会の抗議声明に対し、NHKは14日付で、担当のエグゼクティブ・プロデューサー1名で「番組は」日本が最初の植民地とした台湾に、近代日本とアジア

「日本が一方的に台湾人弾圧」 日台双方で批判続出

の原点を探り、これから日本がアジアの人々とどう向き合っていけばよいか、未来を生きるヒントを探ろうとしたもの」「なにこそ番組の趣旨を、理解いただきたい」と思っています。だが、李登輝友の会の榎原正敬専務理事は夕刊フジの取材に「回答はとも納得できない。担当プロデューサーやディレクターにも出席してもらい、公開討論会を呼びかけたい」と話している。

「日本パンカメラ」 同日複数指定回配達!!

席してもらい、公開討論会を呼びかけたい」と話している。